

平成 25 年度継続事業に関する継続評価書

研究機関 : (株)NTTドコモ、NEC(株)、富士通(株)、
NECソフトウェア東北(株)、東北大学、東京大学

研究開発課題 : 大規模通信混雑時における通信処理機能のネットワーク化に関する研究開発

研究開発期間 : 平成 24 ～ 25 年度

代表研究責任者 : 清水 敬司

■ 総合評価 : (適)

(評価点 20 点 / 25 点中)

(総論)

引き続き推進することが適当である。

(コメント)

- 十分な成果を得ており、当初の目標を上回っている点もある。
- 研究成果の発表に関して、単純に量を増やすだけでなく、質を高めるように努めて頂きたい。トップカンファレンスやトップジャーナル等のプレゼンスの高い場において研究成果を発表されることを期待する。

(1) 当該年度における研究開発の目標達成(見込み)状況

(SABCD の5段階評価) : 評価 A

評価点 : 4点

(総論)

計画通りの成果が得られ、一部に目標を上回っている進歩的な成果等が得られている。

(コメント)

- 課題全体にわたり、計画通りの成果が得られている。
- 成果の中身が具体的に説明されている。
- 性能評価を当初の予定よりも繰り上げて実施するなど、平成 25 年度、平成 26 年度に実施を予定していた各課題の研究内容の一部を前倒して平成 24 年度に実施しており、タイムリーな研究成果が得られている。
- 今年度得られた成果を元に、継続後の処理性能の目標値を 1.5 倍から 1.7 倍に引き上げている。
- 国際標準化や国際展開に関する取り組みが活発である。
- 学術的にも新規性の高い成果が得られている。

(2) 当該年度における研究資金使用状況

(SABCD の5段階評価) : 評価 A

評価点 : 4点

(総論)

適切に研究資金が使用されている。

(コメント)

- 他のプロジェクトとの重複を排除するなどの工夫をしている。
- 研究期間の短縮に伴う変更も含めて適切に使用されている。

(3) 研究開発実施計画

(SABCD の5段階評価) : 評価 A

評価点 : 4点

(総論)

実行可能であり有効かつ効率的な計画である。また、各課題間の関係性が明確に整理されており、一部に当初計画に比べて前倒しがある。

(コメント)

- 繰り上げた計画において無理が生じないように配慮している。
- 前回評価時の指摘事項への対処が適切であり、各課題の関係性が明確に整理されている。

(4) 予算計画

(SABCD の5段階評価) : 評価 A

評価点 : 4点

(総論)

適切な予算計画が組まれており、有効かつ効率的である。

(コメント)

- 補正予算の活用を見込んだ予算計画となっている。
- 研究期間の短縮に伴う変更も含めて適切に計画されている。

(5) 実施体制

(SABCD の5段階評価) : 評価 A

評価点 : 4点

(総論)

多数の機関が良く連携し、適切な実施体勢が取られている。

(コメント)

- 本研究開発には多くの研究機関が参加しているが、毎週のミーティングによって密接な連携が取られるように配慮されている。